

「夢を追う子ども達のために」

松田町立松田中学校 3年 西口 穂

私は3年生に上がるまで税金というものをよく分かっていませんでした。とはいっても、今私を知っている税金の情報はすべて曖昧で、ハッキリしている情報は、色々な人からお金をとるとのことだけです。なので、税金に対してあまり良い印象がありません。

税金について調べてみました。税金とは、年金（保険金みたいなもの）・医療などの社会保障・福祉（保健事業、公衆衛生など）や、水道、道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛といった公的サービスを運営するための費用を賄うものだそうです。他にも、市役所や学校、公民館などの公共施設をつくるためのものでもあるそうです。

私はこれらのことを知って、税金は私達にとってなくてはならないものだと思います。なぜなら、もしも税金がなかったら、これらのようになると考えました。1つ目、道路や橋の整備が行われなくなり、だんだんと傷んでくる。2つ目、私達の安全を守ってくれている警察官がいなくなる。3つ目、学校などで安心して学べる環境を整える費用がまかなえなくなる。4つ目、お年寄りや体の不自由な人などが、困ったときに頼るところがなくなってしまう、などです。これらのことから、私達が安心、安全に暮らしていくために税金は大切なことだと思います。お金に困っている人達のが少しかわいそうだと思いますが、そういう部分、しっかり調整されているらしいので安心しました。

2025年から「大学無償化制度」というものが始まると、ネットで見つけました。子ども3人以上を扶養する多子世帯が対象で、3人兄弟の子ども全員が対象の大学や専門学校などに在籍していれば、3人とも支援の対象となるという内容です。私の家は3人きょうだいなのですが、3人とも年が3つ離れなので、おそらく対象外です。この制度は税金で賄われており、お金に悩む親達のためでもあり、夢を追う子ども達のための制度でもあったと思います。

税の作文を書くことを通して、私は税が私達の安心と安全を守ってくれているということ、子ども達に夢を追わせてくれるものだ学びました。私達子どもはたくさんの大人達の助けに甘え、夢を追い、未来への希望となります。